

薬局

薬剤師 栗原 重久

今回は茅ヶ崎市立病院の薬剤師業務についてお話しします。

① 調剤業務

病院薬剤師の業務の中で、皆さまに一番理解されているのは医師の発行した処方箋に基づき外来・入院患者さまに医薬品を調剤する業務だと思います。

調剤業務も近年、コンピュータ化が進み、当院においても2000年10月よりオーダーリングシステムが導入されたことにより、医師が処方を入力するとデータがすぐに薬局の調剤自動薬袋印字システム・散剤監査システム・自動錠剤分包機に送信され、各業務にとりかかれます。したがって、昔より薬の待ち時間の短縮が可能になりました。

しかしながら、量らなければ投薬できない散剤（粉薬）や服用する時間が一緒の錠剤を一包化する場合には、分包及びその監査に一定の時間がかかり、待ち時間が長くなることがあります。

さて、調剤業務において重要項目の一つに処方監査があります。コンピュータ化された現在でも、一律にチェックできない部分があり処方内容（薬品の用法・用量、相互作用など）を薬剤師がチェックし、必要であれば医師に疑義照会をして適正な薬を患者さまに提供しています。

適正な薬を提供するためには、もう



1つ重要なことがあります。それは調剤過誤を防止することであり、当院では薬局独自の調剤過誤防止マニュアルに従って正確かつ迅速な調剤を心掛けています。

外来患者さまには薬をお渡しする際に薬剤情報提供用紙（処方された薬剤の名称、用法、用量、効能・効果、副作用および相互作用に関する主な情報を文書にした用紙）を添付しています。この用紙を受け取られましたら内容をよく確認し、指示された用法・用量を守って服用または使用してください。そして、疑問や質問があるときはお気軽に薬剤師にお声をかけてください。

② 医薬品管理業務

病院内で使用される全ての医薬品（麻薬・向精神薬・毒劇薬等の法律で規制されている医薬品も含まれます）の適正な在庫量管理（薬局内在庫、院内各部署の在庫）と品質管理（温度、湿度、光、使用期限などのチェック）を行っています。

③ 医薬品供給業務

調剤室への医薬品供給をはじめ、院内各部署への定数配置薬や臨時薬の供給を行っています。

入院患者さまに投与される注射薬は、緊急や臨時の場合を除き、患者さま毎に1日分を薬局でセットして病棟へ送っています。また、IVH（中心静脈栄養）製剤で混合する注射薬がある場合にはクリーンベンチ^{注1}で、抗がん剤の注射薬の調製は安全キャビネット^{注2}で行い、同様に各部署へ送っています。

製剤室においては院内製剤（市販されていない特殊製剤）の調製を行い、調剤室をはじめ院内各部署に供給しています。

④ 医薬品情報管理業務

（D I 業務:drug information）

膨大な医薬品情報を収集・整理することにより医師、薬剤師、看護師など医療従事者および患者さまへの医薬品情報の提供など、良質かつ適正な薬物療法の遂行を目的とした業務です。この業務の1つに先ほど調剤業務のところでお話した薬剤情報提供用紙の文書作成があります。

院内向けには、当院採用薬の情報を院内Web上で検索できるように医薬品の添付文書改訂を常時更新し、薬事委員会での新規採用薬や削除薬、その他重要な情報については随時D I ニュースとして発行しています。

また、毎年、当院採用薬のポケット医薬品集の発行を行うとともに、医師や看護師等からの医薬品に関する質問にも答えています。

⑤ 薬剤管理指導業務（病棟業務）

薬剤師も入院患者さまを中心とした医療チームの一員として、医薬品の適正使用の推進、安全でより効果的な薬物療法を行うことを目的として行っている業務です。

当院では、入院患者さまの持参薬、当院処方薬（注射薬を含む）の薬歴、アレルギー歴、副作用歴、現病歴、既往歴、臨床検査値などの情報を元に服薬指導（服用・使用・注射している薬の情報提供）を行います。そして患者さまからも新たな情報（要求や問題点を含む）を伺いながら、服薬指導記録を作成し、患者さまの服薬情報を医療スタッフが共有できることにより安全性、有効性を含めた薬学的管理を行っています。

しかし残念ながら、この業務はまだ、すべての入院患者さまに対してできていない状態です。今後も努力して少しでも多くの患者様の薬物療法のお手伝いをしていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

以上、簡単ではありますが、当院の薬剤師業務についてお話をさせていただきました。調剤業務以外にもいろいろな業務があり、他部門と密接なつながりをもちながら仕事をしていることがお分かり頂けたら幸いです。

注1 空気中の塵や雑菌などが作業対象物に付着しないよう管理された作業台。

注2 外から雑菌が入らず有害物質が外に排出されないよう管理された作業台。

